

第1回 TOKYO TEEN COHORT 講演会を実施します

日時：2013年6月8日(土)14:00～16:00
 場所：烏山区民会館センター(京王線 千歳烏山駅 徒歩1分)



皆さまのご協力への感謝のひとつとして、「信頼しあう力を育むために」というテーマで、コホート講演会を実施します。長年、信頼をキーワードに研究をなさってきた東京大学の山岸俊男氏と、私たちのコホート研究を率いる長谷川眞理子氏の両名が、思春期の信頼関係についてお話しします。講演会へご参加いただける場合は、事前にお申込みのうえ、会場までおいでくださいますようお願いいたします。詳しくは同封の案内をご覧ください。

ご住所変更連絡のお願い

転居等でご連絡先に変更のあった方は、同封の「住所変更はがき」に必要事項をご記入のうえ、個人情報保護シールを貼ってご返送ください。または、事務局までお電話ください。

■ お電話でのご連絡はこちらまで
 (社)輿論科学協会「青春期の健康・発達コホート研究」事務局
 Tel 0120-551-327 (AM10:00～PM6:00)

TOKYO TEEN COHORT PROJECT

調査
お問い合わせ先

社団法人輿論科学協会「青春期の健康・発達コホート研究」事務局
 〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-6
Tel 0120-551-327 (AM10:00～PM6:00) 担当：島田・井田

研究実施
機関

東京大学
 公益財団法人東京都医学総合研究所
 国立大学法人総合研究大学院大学

協力
自治体
窓口

世田谷保健所健康推進課
 調布市教育委員会教育部指導室
 三鷹市子ども政策部児童青少年課

東京ティーンコホートの詳しい情報はホームページでもご覧いただけます
<http://ttcp.umin.jp>

世田谷区・調布市・三鷹市の広報誌で、東京ティーンコホートが紹介されました！



思春期のお子さんとの健康と発達の過程をアンケート調査などにより、科学的に検討するプロジェクトです。

東京ティーンコホート ニュースレター
 第1号(2013年04月発行)
 発行：公益財団法人東京都医学総合研究所

TOKYO TEEN COHORT NEWS LETTER

皆さまのご協力に感謝いたします

「青春期の健康・発達に関する調査(東京ティーンコホート)」へのご協力、誠にありがとうございました。

おかげさまで、2012年9月から2013年2月までの間に、537世帯の方に調査へのご協力をいただきました。皆さまのご理解とご協力に、研究者一同、心より感謝を申し上げます。

このニュースレターは、ご協力いただいた皆さまに、「青春期の健康・発達に関する調査(東京ティーンコホート)」の進捗状況をお知らせするものです。私たちはこのニュースレターを「TOKYO TEEN COHORT NEWS LETTER」と名づけました。TOKYO TEEN COHORT NEWS LETTER第1号では、

①青春期の健康・発達に関する調査の途中経過(東京ティーンコホートの子どもたち)、②思春期のお子さんについての世界の最新研究成果(～世界の子ども研究～今を知る)、③本場イギリスでのコホート研究の実際について(英国紀行～Cohort in UK～)を中心にお伝えしていきます。

思春期は、身体だけではなく、ころころにも、多くの面で変化が生じる難しい時期です。少しでもお子さんの成長を考える参考になればと祈っております。今後とも「青春期の健康・発達に関する調査(東京ティーンコホート)」を応援いただけますよう、よろしくお願いたします。

Contents

- ◇巻頭
 応援メッセージ：浅田次郎
- ◇ティーンコホート最新情報
 調査と研究について
- ◇研究コラム
 ～世界の子ども研究～今を知る
「思いやりはいつ芽生えるのか」
- ◇巻末
 講演会のお知らせ

サポーター
 ファイル
 02



小説家
 日本ペンクラブ会長
 浅田 次郎

1995年『地下鉄に乗って』で吉川英治文学新人賞、97年『鉄道員』で直木賞を受賞。その他、数々の文学賞に輝いている。

応援メッセージ

どうか思春期の子供らに、豊かな物語を

幼いころに生家が破産し、家族は離散しました。父母はそれぞれ新しい所帯を持ったので、私はどちらに身を寄せることもできず、自分で自分を養って成長しました。顧みて、まったく信じがたい話ですが。私を育ててくれたのは「文学」でした。もし詩や小説に出会っていなければ、私は大人になる前にこの世から姿を消しているか、さもなければ獣のような人生を送っていたと思います。本を食べて生きてきたという実感があるので、今でも読書感想といえば文学的価値でも面白さでもなく、「うまい」か「まずい」かなのです。父母の名を問われるととまどいます。私の父母は実在の人ではなく、「文学」だからです。父から教示された小説があり、母が読み聞かせてくれた物語があったなら、もう少しましな作品を書いていたろうと悔やまれます。どうか思春期の子供らに、豊かな物語を食べさせてあげて下さい。

知りたい!

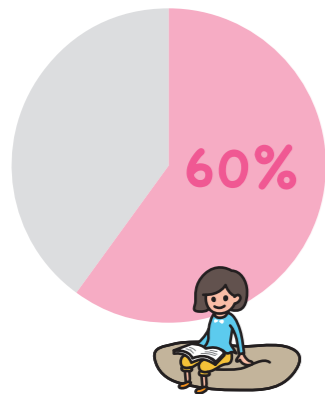
コホートキッズって こんな子どもたち

コホートキッズとは? ... TOKYO TEEN COHORT にご協力いただいた537世帯のお子さんのことです。

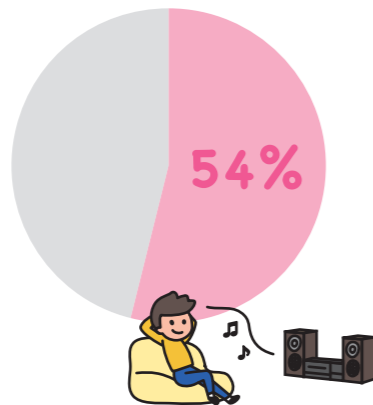
浅田先生からは、「思春期のお子さんに豊かな文学を」というメッセージをいただきました。では、文学経験を含めて、東京ティーンコホートの皆さん(東京ティーンコホートキッズ)は、実際にどのような放課後を過ごしているのでしょうか？
まだ途中段階ではありますが、537世帯分のデータを報告いたします。

週に1度以上している文化活動は？

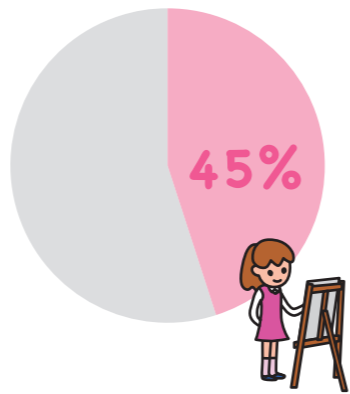
読書を楽しんでいる



音楽を聴いたり
演奏したりしている



絵を描いたり
工作したりしている



勉強以外の習い事は何をやっている？

男子の習い事で人気なのは、水泳 (37%) とサッカー・フットサル (33%) です。
女子の習い事で人気なのは、ピアノ・エレクトーン (42%) と水泳 (27%) です。
書道や英語を習っている女の子も、それぞれ20%以上います。



男の子でも女の子でも、水泳を習っているお子さんが多いようです。
文学に触れたり、音楽を聴いたり、芸術活動をしたり、スポーツに打ち込んだり...
豊かな経験を通じたお子さんの成長が楽しみですね。

「～世界の子ども研究～今を知る」では、世界中で行なわれている子ども研究の最新情報をわかりやすく解説していきます。

～世界の子ども研究～

今を知る

子どもの思いやりは いつどのように 芽生えるのか



「社会性」は、いろいろな能力の集まりで成り立っています。他人の気持ちを正しく推測したり、他人のために我慢をしたりしながらうまく生活を送っていくことで、人は社会の中を生き抜いていきます。こうした能力の一つに、「思いやり」という能力があります。思いやりとは、他人の身の上や心情に心を配ることであり、社会生活をおくる人間にとって、大切で欠かせないものです。

では、思いやりは何歳くらいからどのように芽生えるので

しょうか？誰でも、赤ちゃんの頃から、他人を思いやることのできるのでしょうか？それとも、幼稚園や小学校で、大人や他の子どもたちの言葉や行動を参考に、見よう見まねで身につけるものなのでしょうか？

世界で有数の総合科学誌『ネイチャー』に、ドイツのトマセロ博士の研究グループが、幼児の「思いやり」行動を題材とした興味深い研究結果を報告しています。今回は、その研究について紹介します。以前から、人間の子どものみならず、5～7歳で他人に物を平等に分け与える傾向がみられるようになるということが報告されていました。小学校に入るか入らないかくらいの頃ですね。トマセロ博士は、年長の子どもや大人ほど多くはないものの、たった2～3歳の子どもでも、他の子どもに物を平等に分け与える行動がみられることを、実験で示しました。さらに、この分け与える行動が、他の子どもと協力する経験を通じて促されることも発見したのです。他の子どもと遊んだり、協力したりする事が「思いやり」という大切な気持ちを養っているのだと言えるかもしれません。普段の何気ない生活が、大切な気持ちを育てているなんて、本当に素晴らしいですね。

思春期の成長につながる子ども時代には、まだまだ知られていないことが多く、たくさんの可能性が秘められていると言えるでしょう。

Hamann 2011 Nature
Collaboration encourages equal sharing in children but not in chimpanzees

英国紀行 Cohort in UK



青春期の健康・発達に関する調査(東京ティーンコホート)は、イギリスのミレニアムコホート調査(Millennium Cohort Study)と、国際的な共同研究を行っています。

ミレニアムコホート調査は、ちょうど2000年(ミレニアム)に生まれたお子さん10000人以上を、生まれた時から追跡して

いる調査です。イギリス全土に住むお子さんを対象に行われた調査結果は、イギリスの教育プログラムや教育政策を作る上で、のとても重要なデータになっています。

いろいろな国で行われた調査を比較することによって、調査の結果がある国の中だけで見られるべきごとなのか、それとも世界中の人にあてはまるようなものなのかを考えることができるようになります。

さて、この共同研究を進めるため、私たち調査チームは、イギリスのロンドンへやってきました。2013年3月27日に行われる会議に参加するのが目的です。この会議では、2016年に開始される、14歳を対象としたミレニアムコホート調査で調べる内

容について、100人以上(!)の研究者や有識者による議論が行われます。この会議を元に、何度かの予備調査と追加の会議を経て、ようやく、実際の調査で調べる内容が決定されることになります。とても長い道のりです。実は、私たちの調査でも、同じような長い長い議論と予備調査を経て、調べる内容を決めたのです。2年後に実施される調査についても、今、議論を進めているところです。

ご存知の通り、東京ティーンコホートは最近始まった調査です。これに対し、ミレニアムコホート調査は、21世紀開始直後に産まれたお子さんを、10年以上も追いつけてきた、実績のある調査です。私たちは、こうした優れた先人たちの知恵を参

考にしながら、東京ティーンコホートを進めてきました。今回も、多くのことを学んで帰るつもりです。

(2013.3.26)

